

# 日本風力エネルギー学会 2023(令和5)年度 事業計画

(自：2023(令和5)年4月1日 至：2024(令和6)年3月31日)

## 1. 総会、代表委員会、理事会の開催

- ・年数回の理事会、年1回の代表委員会、総会を開催する。

## 2. 委員会等の開催

- ・年数回の委員会（企画・運営、編集、学術・事業、国際・広報、表彰、論文）を開催する。

## 3. 学会誌・論文集の発行（第47巻）

- ・第1号（通巻145号）2023年5月発行 900部
- ・第2号（通巻146号）2023年8月発行 900部
- ・第3号（通巻147号）2023年11月発行 900部
- ・第4号（通巻148号）2024年2月発行 900部
- ・学会誌・論文集の電子化、ペーパーレス化および編集・発行体制の見直しを行う。

## 4. 第45回風力エネルギー利用シンポジウムの開催

- ・主催：日本風力エネルギー学会
- ・協賛：日本小形風力発電協会、日本風力発電協会（予定）
- ・後援：産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本科学技術振興財団、日本風工学会、日本太陽エネルギー学会、日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会（予定）
- ・開催日：11月30日（木）～12月1日（金）
- ・開催場所：科学技術館（対面及びオンラインによるハイブリッド開催）（予定）

## 5. 見学会の実施

- ・本会主催の見学会を実施する。日本風力発電協会（JWPA）と共同実施のウインドデイ活動に当たる。

## 6. 技術講習会・研究会の開催

- ・風力エネルギーハンドブック研究会：Wind Energy Handbook（第3版）の翻訳である風力エネルギーハンドブックの翻訳・編集を完了し、発刊する。※ハンドブックの刊行に合わせて講習会、Eラーニング、動画等の教育ツールを検討する。
- ・風車運用寿命技術研究会、垂直軸風車空力弾性解析技術研究会及びブレード設計・製造・O&M調査研究会の活動を継続する。また、ウインドファームの流れ場制御研究会の活動を開始する。

## 7. 本会に関わる風力関連イベントへの協力

- ・2023年9月13日～15日に幕張メッセで開催される第20回スマートエネルギーWeek {秋} 及び2024年2月28日～3月1日に東京ビッグサイトで開催される第21回スマートエネルギーWeek {春} には、展示ブースの出展など後援団体として協力する。
- ・2024年1月31日～2月2日に東京ビッグサイトで開催される第18回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム並びに同展示会(RE2024)には、展示ブースの出展など協賛団体として協力する。

日時	開催場所	イベント名	関係	活動	JWEA 役員の参加
6月頃	オンライン	GWEC 年次総会&理事会	加盟	Web	上田理事が参加予定
7/29-30	東京都	青少年のための科学の祭典	協力	展示	今村理事が出席予定
8/8-9	福岡市	第32回日本エネルギー学会大会	協賛		
9/13-15	千葉市	第20回スマートエネルギーWeek {秋} / 第3回 WIND EXPO 秋 国際風力発電展	後援	展示	

10/11-13	北九州市	北九州市・GWEC・JWPA 国際洋上風力シンポジウム (GOWSJ-2023 : Global Offshore Wind Summit-Japan 2023)	後援		
10 月頃	千葉県 (日本大学)	第16回 風力発電コンペ (WINCOM2023)	後援	Web	
10・11 月頃	豪州 Hobart	World Wind Energy Conferenve 2023 (WVEC2023)	加盟		荒川代表委員が参加予定
10・11 月頃	未定	令和 5 年度日本太陽エネルギー学会研究発表会	協賛	Web	
2024 年 1/22-2/2	東京都	第 18 回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム (RE2024) フォーラム 1/22-30 (オンライン) 展示会 1/31-2/2 (含セミナー)	協賛	展示 座長	吉田(茂)理事、飯田理事、 安田理事、他
1・2 月頃		第12 回 IEA Wind セミナー		Web 参加	
2/28-3/1	東京都	第 21 回スマートエネルギーWeek {春} /第 12 回 WIND EXPO 春 国際風力発電展	後援	展示	

## 8. 表彰の実施

- ・ 本会規程に基づき功労賞、学会賞、研究奨励賞、論文賞、優秀発表賞、ポスター賞等の表彰及び学会賞、研究奨励賞の募集を実施する。また、本会が後援するイベント等において、日本風力エネルギー学会長井浩記念賞の表彰を、さらに代表委員等の協力を得て風力の未来賞の候補者募集を行うとともに、日本学術振興会における各種表彰制度への学会推薦者の募集を行う。
- ・ 令和 5 年度総会 (5 月 31 日) において、以下の表彰を行う。
  - 功 労 賞：山田英幸氏
  - 論 文 賞：内田孝紀氏・高桑晋氏、比江島慎二氏ほか、角谷啓氏ほか
  - 優秀発表賞：栗飯原あや氏、阿部頌氏、岡村龍之介氏、菊地由佳氏、種本純氏、吉田敏哉氏、渡邊慶一郎氏、渡辺勢也氏
  - ポスター賞：内田孝紀氏ほか、大鳥弘雅氏ほか(ベストポスター賞)

## 9. 学会誌、論文集、予稿集を J-STAGE に掲載

- ・ 学会誌及び論文集、シンポジウム予稿集の電子化と J-STAGE での定期的な公開を通じて、本会のプレゼンスを向上するとともに、会員の記事や論文を広く公開することにより、引用数の増加及び業績評価にも貢献する。

## 10. ホームページの充実

- ・ 本会ホームページの更新、内容の充実を行う。

### 11. 論文集の充実

- ・ 一般投稿のほか、風力エネルギー利用シンポジウムで座長から推薦された発表論文の著者に投稿依頼することにより、15 件程度の投稿を目指す。

### 12. 事務局体制の整備・機能の向上 (情報発信、対外対応、知財管理・・・会員サービス向上)

- ・ 常勤事務局長の採用
- ・ 事務局業務の効率化、機能強化・拡大 (学会誌発行等)
- ・ 事務局内 I T システム、会議システムの整備、D X 化への対応
- ・ 事務局ネットワークのセキュリティ強化のためのシステム更新